

※昔の新聞記事で読みづらいので、その訳文

## 羊毛工業の改善に着手 二十三日農相官舎で第一回 合理化委員会を開く

産業合理局では羊毛工業の不況救済の目的を以て今回業態別臨時委員会の一として羊毛工業改善委員会を設置することになり。二十一日左の如く委員の任命を決定し来る二十三日第一回の委員会を開催することになった、大体合理局側の羊毛工業改善方策の理想とする所は羊毛工業の大合同実現にあるが、それが種々の事情からして不可能とすれば第二段の策として強力なる共販プール組織に向って進むべく特に中島常務顧問を会長に据えて慎重なる態度でこれに臨むこととなった。

◇会長 中島久万吉

◇委員 岩井商店岩井勝次郎、新興毛織河崎助太郎、日毛川西清兵衛、羊モス門野重九郎、伊丹製絨谷江長、  
京モス鶴見左吉雄、千住製絨所々長長広謙次郎

◇幹事 商工省工政課長田中直通、商工技師大山清一郎

◇記者 商工技手影木鹿吉

当業者の意見も**充分に聴く** 当局の方針

商工省臨時産業合理局ではわが国内各種事業のうち羊毛工業は、なかんづく改善の急に迫られているものとしてこれが合理化を計画中であったが、別項の如く二十三日午前十時商工大臣官舎に羊毛工業合理化に関する委員会の第一回を開き、いよいよその実行に着手することとなったが合理局当局としては先ず第一回委員会において当局の羊毛工業合理化に対する意見を述べ、これに対する当業者代表たる委員の意向も充分聴取した上、双方一致協力して然るべき計画を樹て合理化の実を挙ぐべしとの意向であるが、合理局当局のわが羊毛工業改善に対する意向を綜合すれば当業者のみの意見を基礎として計画を立てても到底根本的合理化の実を挙げることは至難につき、右委員会に局外よりさらに二、三委員を加え公平なる立場よりドシドシ計画を進め企業統制を目的として、この際根本的療法を施さんとするにある。

## 羊毛工業会臨時総会開催 二十六日大阪ホテルで

大阪二十一日電話＝羊毛工業会の刷新具体案は既報の如く内定したので同会では来る二十六日午前十時より大阪市大阪ホテルに臨時総会を開き諸般の事項を決定することとなった。